

## ニッセイ インターネットアンケート

### ～7月：「夏のボーナス」について～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ（<http://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「夏のボーナス」に関するアンケート調査を実施いたしました。

来月は「夏休み」に関するアンケート調査結果を公表いたしますので、ご期待ください。

#### 《調査概要》

- 調査期間：平成26年6月1日（日）～6月23日（月）
- 実施方法：インターネット（PC・携帯電話モバイルサイト）による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：11,361名（男性：6,185名、女性：5,176名）

#### ＜年代別回答者数＞

(名, %)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男性	7	406	1,124	1,971	1,622	793	262	6,185
女性	2	505	1,028	1,522	1,226	610	283	5,176
合計	9	911	2,152	3,493	2,848	1,403	545	11,361
占率	0.1	8.0	18.9	30.7	25.1	12.3	4.8	100.0

#### ＜職業別回答者数＞

(名, %)

	民間企業・団体			公務員	自営業 自由業	パート アルバイト	学生	無職*	その他	合計
	正社員 正職員	嘱託 派遣社員 契約社員	経営者 役員							
合計	5,128	589	309	795	798	1,109	41	2,344	248	11,361
占率	45.1	5.2	2.7	7.0	7.0	9.8	0.4	20.6	2.2	100.0

\*専業主婦（主夫）含む

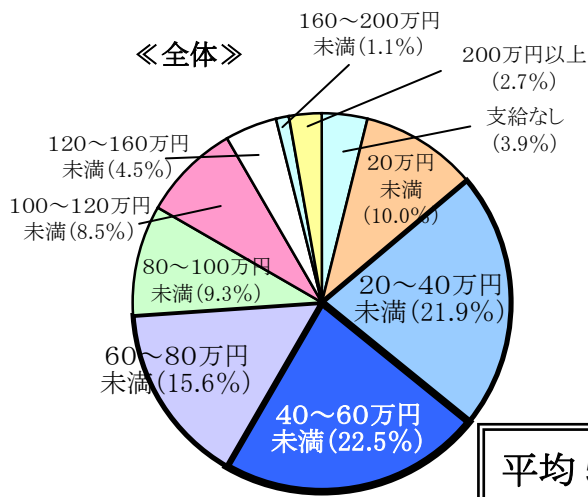
#### 《今年の夏のボーナスについて》

- 質問1 ボーナスの支給額はいくらでしたか？
- 質問2 ボーナスは増えましたか？減りましたか？
- 質問3 ボーナスを何に使いますか？
- 質問4 「預貯金以外」に使う金額を増やしますか？減らしますか？
- 質問5 予想していた金額より高いですか？低いですか？
- 質問6 現在の経済情勢をふまえ、冬のボーナス金額はとなると予想しますか？
- 質問7 今年の夏休みの予定は？
- 質問8 今年の夏休みの遊興費は増やしますか？

※次頁以降は20代～50代を対象とした集計結果（パート・アルバイト・学生・無職・その他を除く）

■質問1 ボーナスの支給額はいくらでしたか？ (回答者数：4, 106名)

- 夏のボーナス平均支給額は59.3万円。最も多かったのは「40～60万円未満」で22.5%。
- 昨年の夏のボーナスに比べ、各年代で+5万円以上増加し、平均で8.6万円の増加となった。年代別で見ると、40代・50代が約10万円増加した。



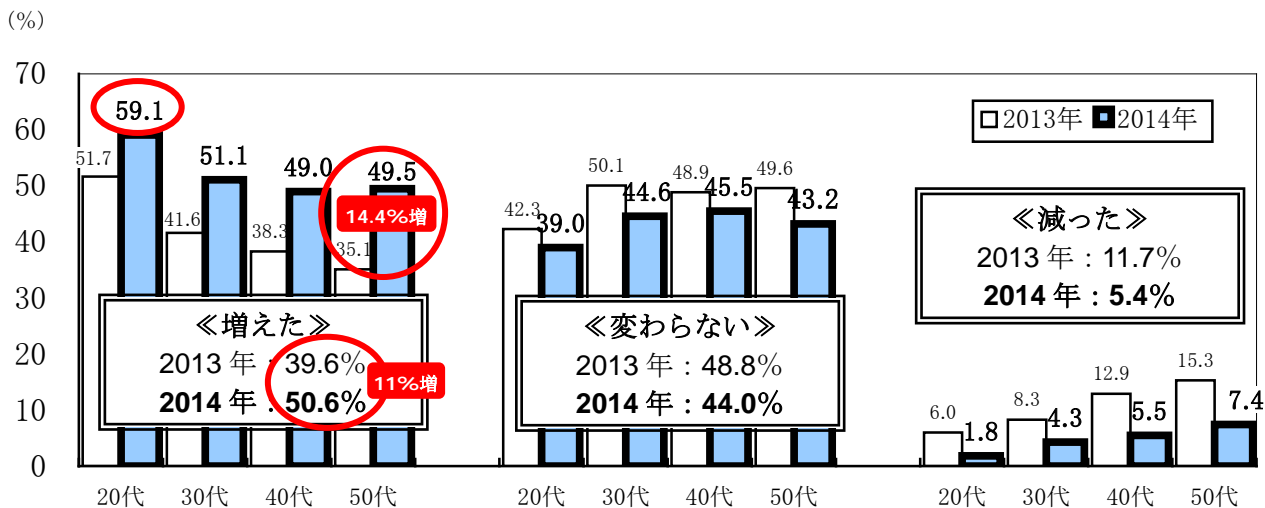
《年代別》 ボーナス平均支給額

	平均					(円)	
	平均金額	20代	30代	40代	50代	男性	女性
平均金額	59.3万	32.7万	45.2万	63.6万	74.9万	67.5万	36.0万
対前年	+8.6万	+6.5万	+7.2万	+9.4万	+9.4万	+9.8万	+5.0万

平均 59.3 万円

■質問2 ボーナスは増えましたか？減りましたか？ (回答者数：4, 371名)

- 「増えた」と回答した方が全体の半数を占め、とくに20代では59.1%と約6割。
- 昨年のアンケート結果と比べ、各年代で「増えた」と回答した方が増えており、全体でも11%増加。とくに50代では、14.4%増加した。



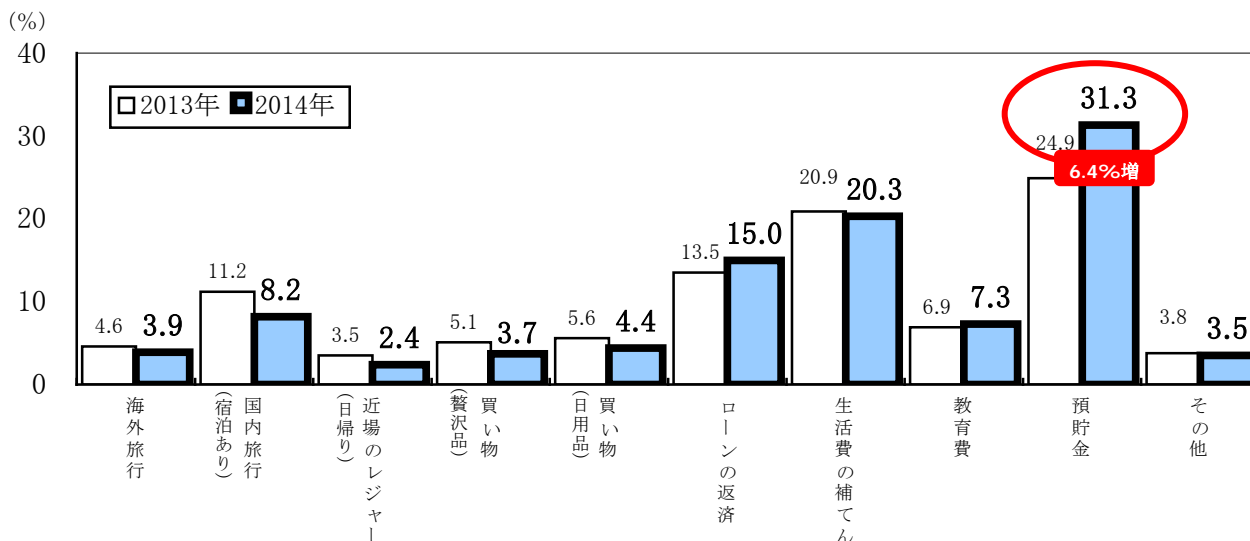
<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント>

- 今春の賃上げと同様、好調な企業業績を背景としてボーナスについても性別、年代を問わず約半数が前年より増額という結果になりました。昨年との対比では高齢層ほど「増えた」層の伸びが大きいことは、今春の賃上げによる影響を含め、企業業績の従業員への還元が幅広く進んだことを表しているものと考えられます。
- 当アンケートによると、平均支給額も全年代で前年比1割以上増えていることから、懸念されてきた消費税増税や物価上昇の影響もある程度吸収できるのではないのでしょうか。



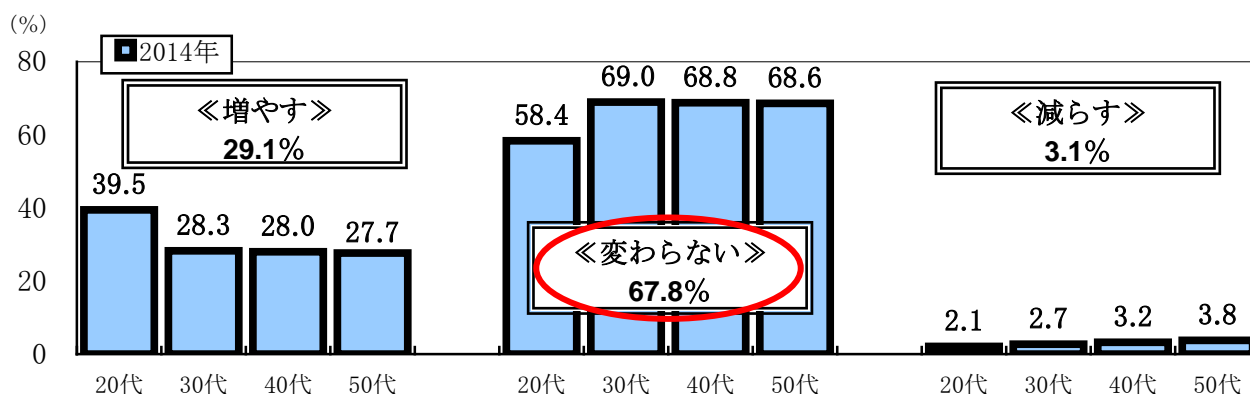
■質問3 ポーナスを何に使いますか？ (回答者数：4,955名)

- 「預貯金」と回答した方が3割を超過(31.3%)。昨年に比べ、6.4%増加。
- 海外旅行や国内旅行は、昨年に比べ、減少する結果となった。



■質問4 「預貯金以外」に使う金額を増やしますか？減らしますか？ (回答者数：3,907名)

- 「変わらない」が全体の約7割。「増やす」が「減らす」を大幅に上回る結果となった。
- 「預貯金以外」に使う金額は、昨年の夏のボーナスに比べ、各年代で2万円以上増加した。とくに、20代男性は平均で4.1万円の増加となった。



《男女別年代別》「預貯金以外」に使う金額の増減

(円)

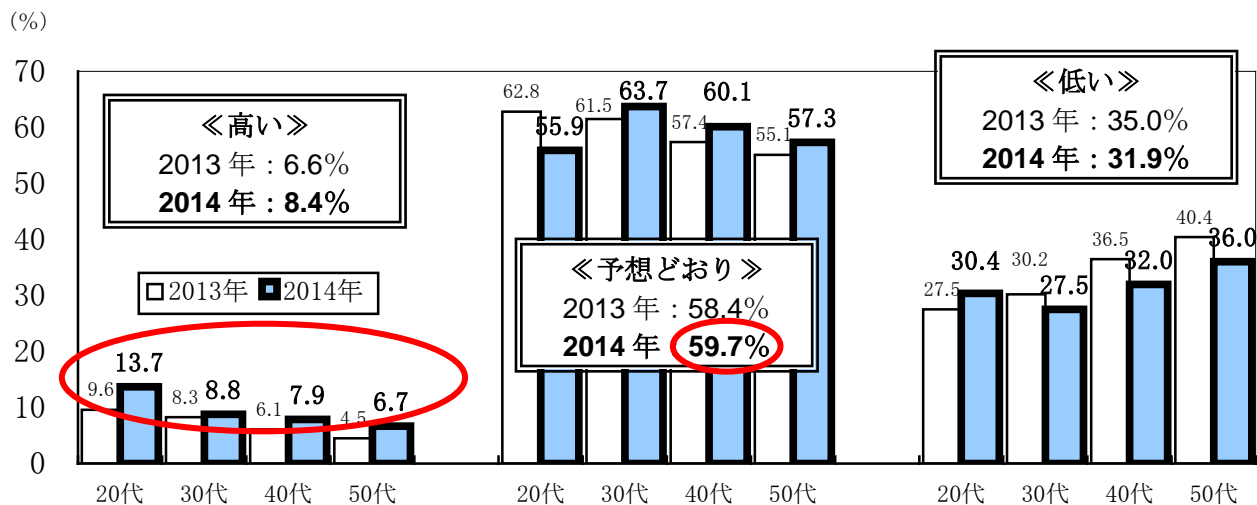
	平均	20代	30代	40代	50代
平均金額	+3.1万	+3.2万	+2.3万	+3.5万	+3.0万
男性	+3.3万	+4.1万	+2.3万	+3.7万	+3.4万
女性	+2.3万	+2.2万	+2.4万	+2.8万	+1.7万

＜ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員 のコメント＞

- ボーナスの使途として預貯金の回答比率が大きく増加し、ローンの返済も微増する中、国内・海外の旅行や買い物が僅かながら減少している背景には、来秋に予定される10%への消費税率引上げの影響を含めた景気の先行きに対する不安や、社会保障制度への根強い不信感などがあるものと考えられます。

■質問5 予想していた金額より高いですか？低いですか？ (回答者数：4,951名)

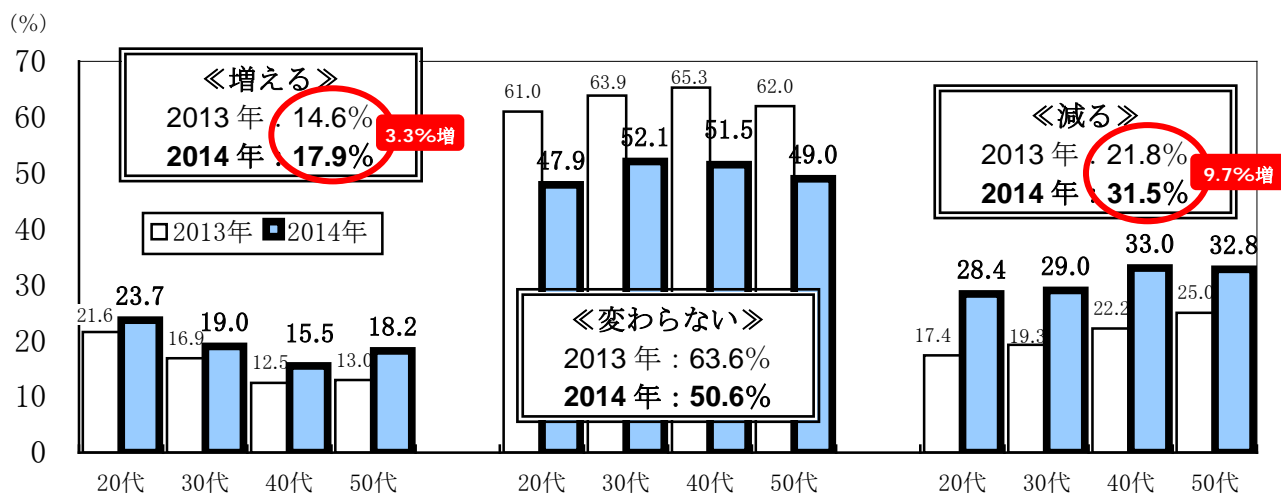
- 「予想どおり」が全体で約6割を占め、各年代でも占率が最も高い結果となった。
- 昨年の夏のボーナスに比べ、予想より「高い」が各年代で増加。



■質問6 現在の経済情勢をふまえ、冬のボーナス金額はどのように予想しますか？

(回答者数：6,209名)

- 半数が「変わらない」と予想する中、「減る (31.5%)」が「増える (17.9%)」を13.6%上回った。
- 「減る」と予想した方は、昨年 (21.8%) に比べ、9.7%増加した一方で、「増える」と予想した方も昨年 (14.6%) に比べ、3.3%増えた。

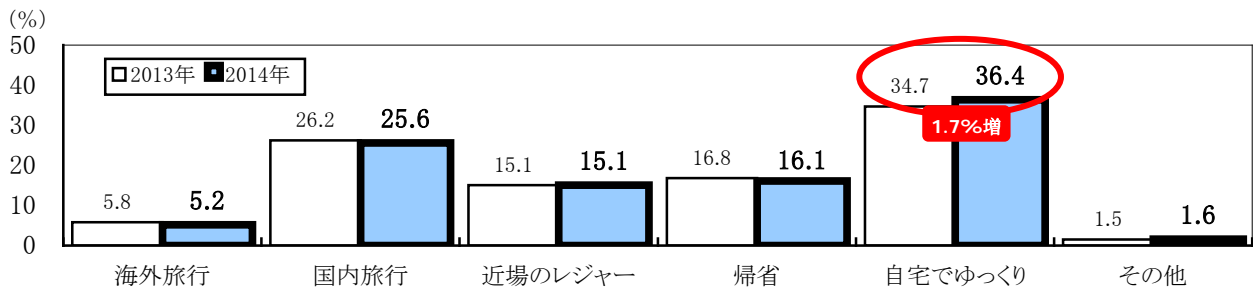


<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント>

- 冬のボーナスについては「減る」予想が大きく増加しました。一方で、「増える」予想も微増していることは、それぞれの消費者がおかれている環境により、足元の景気動向に対する見方が分かれていることを表していると考えられます。  
今夏のボーナスでは僅かながら財布の紐をゆるめる姿が確認できたとはいえ、多くの消費者は、景気動向に対して、手放しで楽観視しているわけではないといえるでしょう。

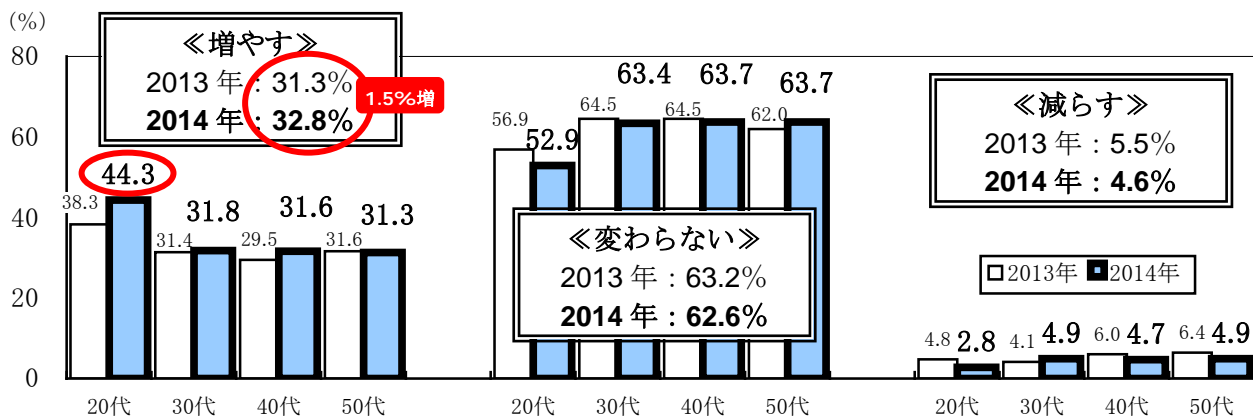
■質問7 今年の夏休みの予定は？ (回答者数：6,081名)

○ 昨年と同様の傾向。「海外旅行」「国内旅行」が微減し、「自宅でゆっくり」が昨年に比べ1.7%増加する結果となった。



■質問8 今年の夏休みの遊興費は増やしますか？ (回答者数：4,397名)

○ 遊興費を「増やす」と回答した方は32.8%。中でもボーナスが増えたと実感している20代が44.3%と最も高い占率であり、昨年の結果よりも全体で1.5%上昇した。  
○ 平均遊興費は平均9.6万円となり、前年より2.1万円増加。



《年代別》 夏休みの平均遊興費

	平均	(円)			
		20代	30代	40代	50代
平均金額	9.6万	7.1万	7.7万	10.1万	11.4万
対前年	+2.1万	+2.2万	+1.9万	+1.9万	+2.5万

	男性	女性
平均金額	9.7万	9.2万
対前年	+1.9万	+2.7万

<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント>

- 遊興費を増やすと回答した方の割合は各年代とも3~4割と、ボーナスが増えたと実感している5割の方のうち、6割程度を占める結果となっています。特に20代では、30代以上に比べボーナスが予想以上に増えたという方も多くなっていることから、より積極的に夏休みを楽しもうと計画しているのではないのでしょうか。
- 夏休みの平均遊興費をみても、預貯金以外に用いる金額の増額分(平均+3.1万円)のうち、大半が平均遊興費を押し上げる結果となっているようです。このことは、先行きへの不安がある中でも、今春の賃上げやボーナスの増額が、多少なりとも消費者が財布の紐をゆるめるきっかけとなっていることを表しているといえそうです。

以上

